令和８年９月25日
長野県寿台支援学校
学校だより　第２号

寿台

〒399－0021
長野県松本市寿豊丘811－88
TEL　0263－86－0046
kotoshien-sc@pref.nagano.lg.jp

～ 学校長より ～

中原 直樹

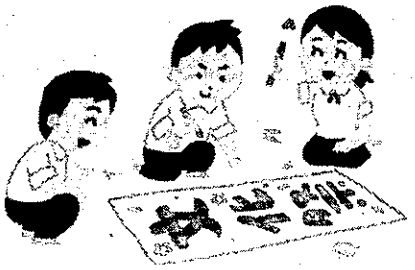
朝夕の風に少しずつ秋の気配を感じるようになりました。長い夏休みを終え、校舎には子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。友だちや先生との再会を喜ぶ姿、新しい学習に向かおうとする姿から、２学期への期待が伝わってきます。

２学期は、日々の学習に加え、修学旅行や校外学習、紅葉祭など、さまざまな経験を重ねることのできる時期です。一つ一つの活動には、「やってみよう」と一歩を踏み出したり、自分で考えて選んだり、友だちと力を合わせたりする場面がたくさんあります。そうした経験の積み重ねが、子どもたちの自信となり、次の一歩につながっていくものと考えています。

本校のあいことばは、「自分から自分で　自分らしく　精一杯」です。「自分から」やってみる、「自分で」考えたり選んだりする、そして「自分らしく」「精一杯」取り組む。その姿は一人ひとり違っていて当然です。大切なのは、その子なりの一歩を認め、ともに喜び、次への意欲につなげていくことです。教職員一同、子どもたちの小さな変化や成長を丁寧に捉えながら、一人ひとりが持っている力を十分に発揮できる学びをつくってまいります。

そして２学期には、子どもたちが日頃の学びを発揮する大切な機会である紅葉祭があります。発表や展示はもちろんですが、そこに至るまでの過程にも、たくさんの学びがあります。仲間と一緒に取り組むこと、自分の役割を果たすこと、繰り返し練習すること、そして多くの方に自分たちの頑張りを見ていただくこと。紅葉祭が、子どもたちにとって「できた」「伝わった」「頑張ってよかった」と実感できる機会になることを願っています。

子どもたちが学校で見せる成長の姿は、ご家庭での支え、そして地域の皆様の温かな見守りがあってこそのものです。学校・家庭・地域がともに子どもたちの成長を喜び合い、一人ひとりの「自分らしさ」を大切にできる２学期にしていきたいと思います。



◆おしらせ◆

１　紅葉祭、はと祭について

10月９日（金）、10日（土）には、紅葉祭が開催されます。また、松本ろう学校のはと祭は、10月10日（土）に開催され、今年度、松ろうキャンパスの児童生徒は、はと祭のみの参加を予定しています。

先日、本校では紅葉祭に向けた全校集会が行われ、今年度のテーマやダンスが発表されました。

10月10日（土）は、ご家族の皆様も来校可能な一般公開日となりますので、奮ってご参加ください。

紅葉祭一般公開に関わるお願い

[受付時間]　９時30分～１１時00分　　[公開終了]　１１時20分

※ 保護者の皆様の受付は不要です。

[保護者へのお願い]

・来校いただく際は上履きをご持参ください。また、下足はお子さんの下駄箱に入れてください。なお、複数名で来校される場合は、ビニール袋等を持参して下足を入れ、お持ちください。

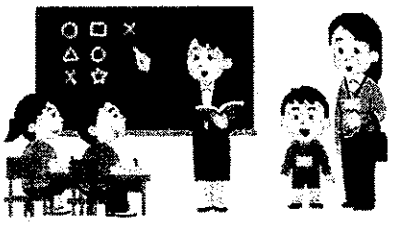
・保護者の皆様は、保護者用名札を持参・着用してください。

2　小学部源池分教室の開室に向けて

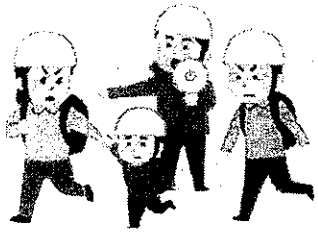
松本市では令和１１年度に松本市立源池小学校敷地内に松本市立特別支援学校（仮称）を開校するための準備を進めています。開校に当たっては、令和9年度に寿台支援学校小学部の分教室として「源池分教室」を開室する予定です。

今年度は、そのための準備として、来年度に分教室への入学や編入を希望するお子さんとそのご家族が源池小学校を見学する、源池小学校の教員が特別支援学校への理解を深めるために本校に来て体験研修を行う、寿台支援学校の教員が源池小学校に出向いて源池小学校の児童に学校の紹介をする等の取組を進めています。

今後も引き続き、分教室の開室に向け、松本市と連携をして準備を進めてまいります。



3　大規模な自然災害が起きたらどうする？ ～ 学校安全総合支援事業 職員研修会 ～



本校は、3年前から長野県教育委員会の学校防災アドバイザーである白神 晃子 先生（立正大学 准教授）にご指導をいただき、防災教育や避難訓練、職員研修に取り組んでいます。今年度は、夏休み中に白神先生に来校いただき、大地震を想定した職員ワークショップを行いました。

ワークショップでは、白神先生から「地震により電話等の通信機能が停止したら」、「周辺道路が被害を受け、保護者がすぐに迎えに来られなかったら」、「断水や停電が発生し、復旧の目途が立たないとしたら」、「地域住民や卒業生が支援を求めて学校に大勢殺到したら」などと、発生直後の対応だけでなく、地震発生後に関連して起こりそうなことに関する質問が投げかけられ、対応策や日頃の備えについてアイデアを出し合いました。白神先生のご助言や職員同士の意見交換により、避難生活の長期化を見据えた備えの大切さや、日頃の防災教育のあり方について考える貴重な機会となりました。

4　ドリンクの寄贈

松本山雅ホームゲームの際の駐車場収益を地域の福祉団体や特別支援学校へ還元する取り組みとして、松本山雅 FC オフィシャルスポンサーの信州ビバレッジ様からドリンクの寄贈がありました。

そのうち、「ムテキッズ」330 本を児童生徒一人につき2本ずつ配付させていただきました。また、飲料水672本は、災害時の備蓄品として学校において保管し、活用させていただきます。

